

1. 市民意見募集の実施について

大宮駅東口の公共施設再編に関するリーフレット及び意見提出用紙を配布し、意見募集を行いました。

1) 意見募集期間

平成 24 年 6 月 18 日(月)～7 月 18 日(水)

2) 意見募集の取組の概要

| | 取組内容 | 結果 |
|----------------------|---|------------------------------|
| 公共施設等での意見提出用紙配布 | ○各区役所、大宮区内の公民館・図書館等で配布 ○市 HP での公開 | ◆約 3,000 部を配布 |
| 出前説明会の実施 | ○リーフレットを基に地元の各団体への出前説明を実施 | ◆13 団体に説明実施 ◆のべ参加人数：245 名 |
| まちづくりフォーラムの開催 (7/14) | ○リーフレットの説明を行うとともに、ビジョン推進懇談会での議論や参加者との意見交換を行うイベントを開催 | ◆参加者：111 名 ※ 委員・パネラー含む |

リーフレット（抜粋）

大宮区役所庁舎の建て替えと公共施設再編について

大宮区役所庁舎（昭和 41 年築）については、本年 1 月からの耐震化計画において、耐震化工法を検証するとともに、市民・職員の安全確保、防災拠点としての耐震性確保、庁舎のバリアフリー化、環境負荷軽減、ライフサイクルコスト等を踏まえて検討した結果、耐震改修の選択が適当であるため、新築建て替えをとする方針となりました。

そこで、大宮区役所庁舎の建て替えにあたり、大宮駅東口周辺の耐震性や老朽化に課題を抱える公共施設の再編の中で、立地条件やまちづくりの観点などを踏まえて候補地の比較検討を行い、市民の様々な意見をお聞きしながら、大宮区役所庁舎の建て替え位置や公共施設再編の基本的な方針性を確定してまいります。

【公共施設再編における検討対象】

パターン① 【現位置で建て替え】

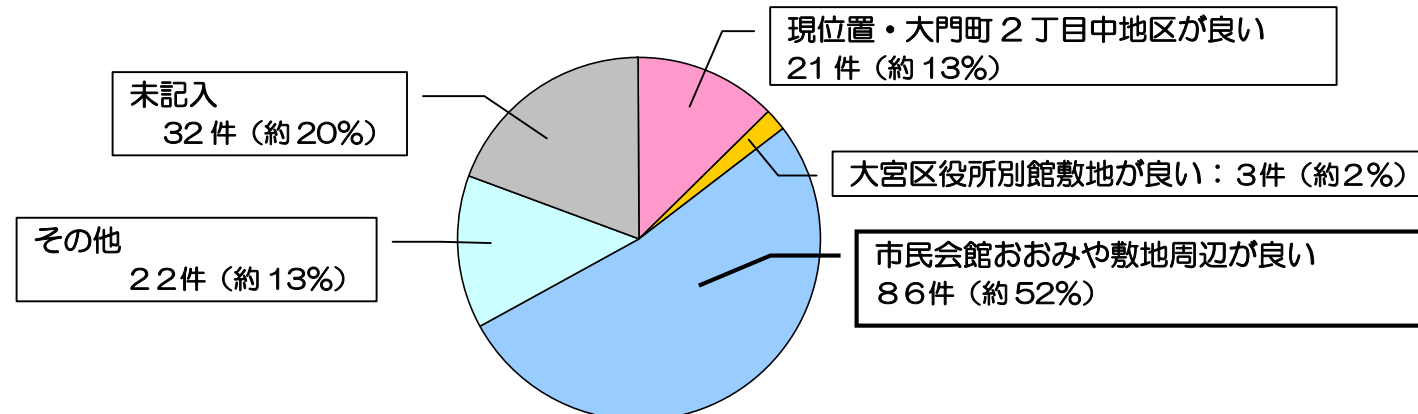
パターン② 【大宮区役所別館敷地への移転】

パターン③ 【大門町 2 丁目中地区への移転】

パターン④ 【市民会館おおみや敷地周辺（県合同庁舎）への移転】

2. 大宮区役所新庁舎の建て替え位置等に関する市民意見の概要について

1) 意見提出用紙提出総件数：164 件



2) 大宮区役所の建て替え位置に関する意見（用紙提出における自由記載＋出前説明での意見交換）

【大宮区役所庁舎について】

- 市民会館おおみや敷地周辺（パターン④）が良い
 - ひろばとの一体的整備により、市民の憩いの場の創出や防災機能の強化が期待
 - 氷川参道を通じ、大宮とさいたま新都心間の回遊性向上に期待
 - 大宮のまちの奥行き拡大や、跡地を利用した大宮駅前のまちづくり推進に期待
 - アクセス性を補うため大宮駅やさいたま新都心からのバスルートの整備が必要
 - 区役所が駅から離れても窓口手続きは大宮駅支所があるのでかまわない など

【新しい大宮区役所庁舎に望む機能や施設、イメージについて】

- ◆望む機能について
 - 文化機能としての図書館、博物館
 - ホール、コンサート会場、コミュニティセンター
 - 子どものための施設としてキッズルーム、遊べる空間
 - 喫茶店、レストラン
 - 交通・防災機能の充実
 - 物産館、情報発信機能 など
- ◆望む施設、イメージについて
 - 氷川参道、氷川の柱に相応しい施設や環境
 - 近代的でリラックスできる雰囲気
 - 多機能が併設されたバリアフリー化された施設
 - プラザノースのような施設 など

3. まちづくりフォーラムでのご意見

- 施設・機能だけではなく、周辺整備も検討が必要
- 大宮の交通利便性を活かした都市機能の拡充が必要
- 経済状況や安心安全の確保の観点から、スピード感が重要

4. まちづくりフォーラム以降の流れ

- 平成 24 年 7 月 24 日に開催された大宮駅周辺地域戦略ビジョン推進懇談会において、市民意見等の集約をし、大宮区役所新庁舎の建て替え位置は、市民会館おおみや敷地周辺（県大宮合同庁舎）が最適と判断。
- 平成 24 年 8 月 8 日に開催された「さいたま市都市経営戦略会議」において、大宮区役所新庁舎は市民会館おおみや敷地周辺（県大宮合同庁舎）への移転とすることで結論付けた。→埼玉県との協議開始
- 埼玉県と協議を行い、概ね合意を得られたことから、埼玉県とさいたま市で基本協定書を締結し、県大宮合同庁舎敷地を市有地との土地交換により取得（12 月 21 日締結）。

5. 結論

大宮区役所新庁舎の建て替え位置は、県大宮合同庁舎敷地とする。

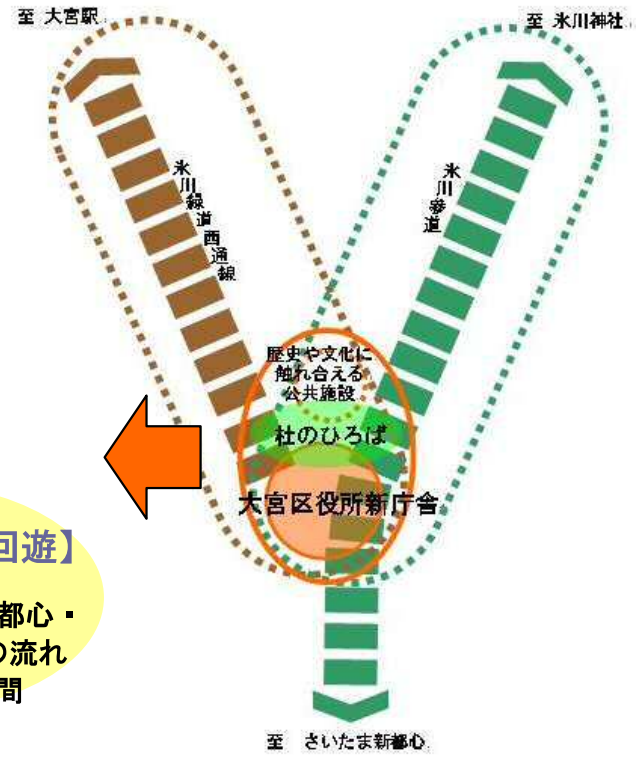
1. 新庁舎周辺の土地利用の展開について

新庁舎周辺は、氷川緑道西通線（動的路線）と氷川参道（静的路線）に囲まれた場所であり、これらを繋ぐことにより、以下のような土地利用を展開することが出来ると考えています。

【交流・連携】
施設（機能）の複合・一体化によるさまざまな交流を創出する空間

【氷川の杜】
氷川参道と一体となった広がりのある緑の空間

【おもてなし・回遊】
大宮駅・さいたま新都心・氷川神社からの人の流れを受け止める空間



2. 新庁舎及び敷地周辺の整備基本方針について

●区民に開かれた身近で便利な庁舎

- 区民のさまざまな活動や交流ができる、区民に開かれた環境を整えることにより、区民と行政を結び付け、互いの持ち味を最大限に活かした庁舎とします。
- 区民の生活に身近なサービス窓口として、さまざまな手続きや相談などができる、便利で利用しやすい庁舎とします。

●いざという時にも心強い庁舎

- 区役所は、災害時において区災害対策本部を設置し、避難場所の開設等を行う必要があります。高い耐震性を確保するとともに、杜のひろばでの一時的避難利用による防災機能の連携など、効率的かつ効果的な災害対策活動ができる環境を有した、災害に強い庁舎とします。

●経済と環境にやさしい庁舎

- 区役所は、まちの中核的な公共施設として、エネルギー問題等に対して先導的な取組みを行う必要があります。氷川参道の環境保全に対する取組みと一体となり、まちの経済と環境にやさしい庁舎とします。

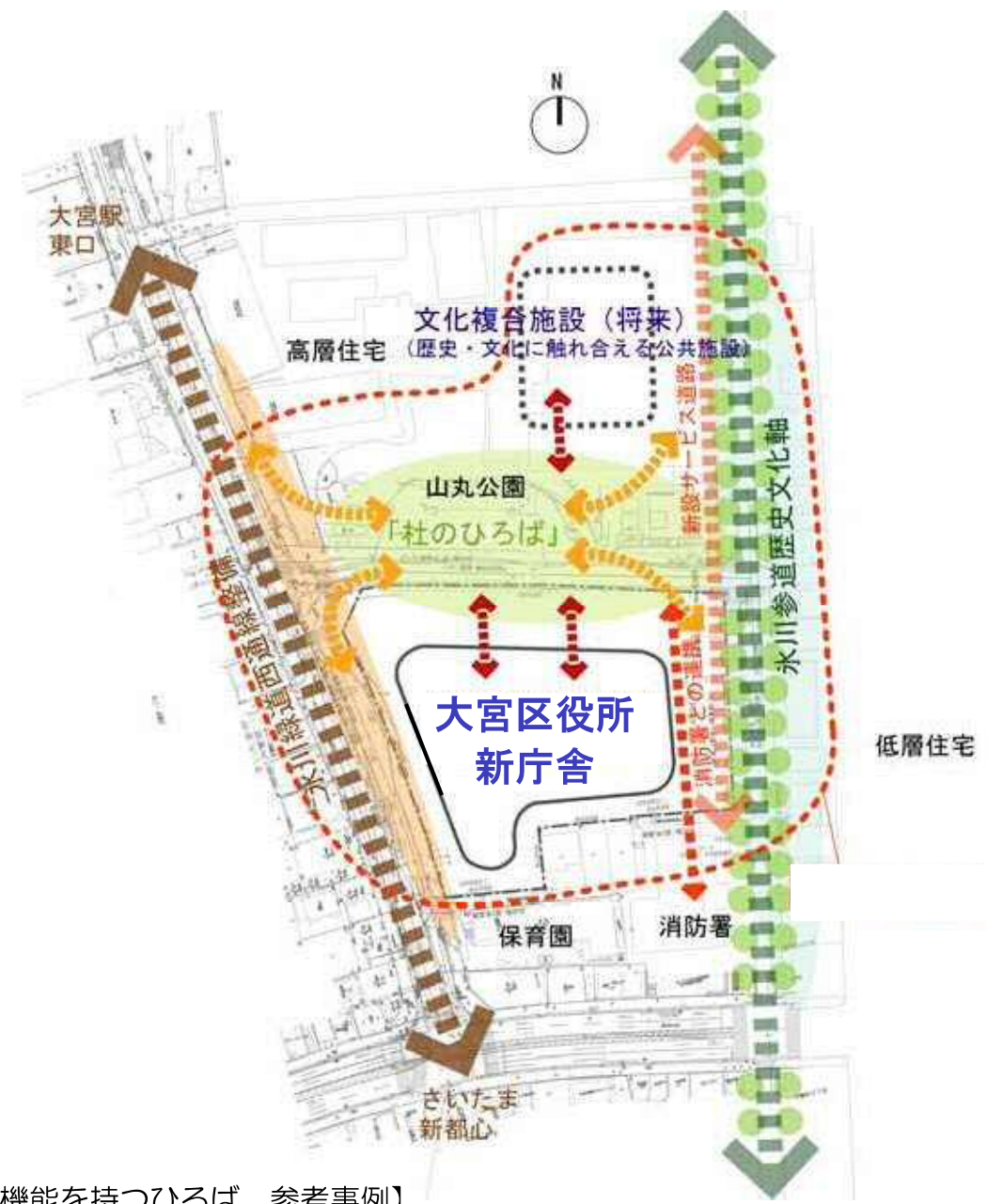
●地域の誇るシンボリックな庁舎

- 氷川の杜の豊かな緑と一体となった施設として、参道の木々とのバランスや周辺環境に十分配慮しながら、地域活性にも寄与する賑わいや誰もが誇れるシンボリック性を創出するような庁舎とします。

●人をひきつける魅力的な庁舎

- 大宮駅やさいたま新都心駅からの人の流れを引き込むためには、人をひきつける魅力をもつことが必要です。行政機能と公共機能を効果的に結び付けるとともに、屋内・外におけるイベントスペースの創出など、新たな魅力を有した庁舎とします。

3. 土地利用の考え方について



【防災機能を持つひろば 参考事例】
※新宮中央公園（廿日市地方合同庁舎前／広島県）



便所+備蓄倉庫



ベンチ+災害用かまど

1. 新庁舎への導入予定機能について

* 現大宮区役所庁舎の機能は、一部を除いて新庁舎へ導入を予定しています

- ・大宮区役所
- ・北部建設事務所
- ・北部都市・公園管理事務所
- ・障害者更生相談センター
- ・保健センター

* 新たな機能として、以下のものを検討しています

- ・図書館機能
- ・ふれあいスペース
- ・休憩、休息機能 など

* 参考施設 武蔵野プレイス

図書館のほか、市民活動支援、生涯学習支援、青少年活動支援の機能を有する施設。複数の機能を配置することにより、さまざまな人が集まりやすい場をつくらうという試みで出来上がったもの。

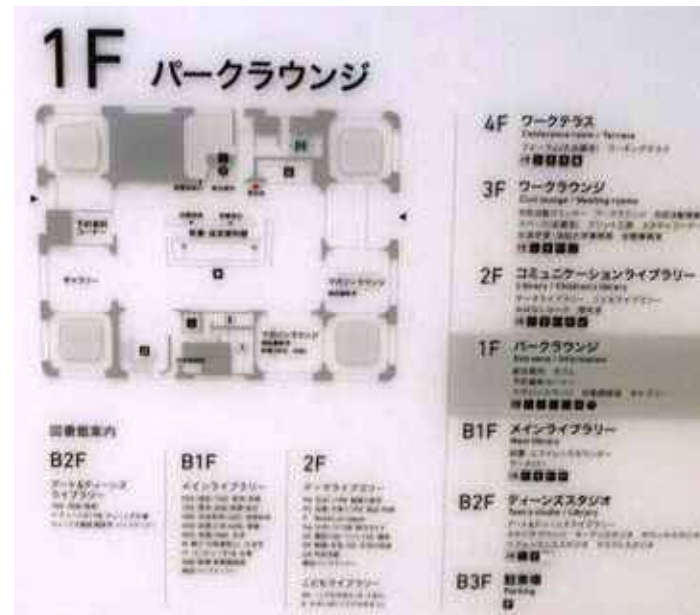
武蔵野市立ひと・まち・情報創造館
武蔵野プレイス

■ふれあいスペースについて

老人福祉機能、子育て支援機能及び青少年の居場所機能など、多目的な利用が可能となるようなスペースを設けることにより、多世代の交流を図ることが出来ると考えています。

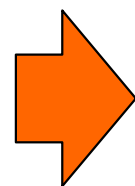
【ふれあいスペースの想定利用例】

- ・間仕切り壁を設置し、機能ごとに利用
- ・大規模イベントに対応できる一体型のオープンスペース利用
- ・災害時、帰宅困難者の一時避難
- ・図書館と共用できる学習室、読書室、集会室、展示スペース、ホール
- ・多世代が交流できる団欒スペース
- ・プレイルーム など



2. 新庁舎の機能複合化による効果について

- ①新たな交流の創出
- ②新たな連携の創出
- ③利便性の向上
- ④にぎわいの創出
- ⑤省スペース化



施設の一体整備による
相乗効果を創出

3. 新庁舎敷地周辺の整備について

